



報道で紹介された美瑛高校 03

◆令和7年5月17日(R7.5.24 びえい新聞)

今年度も缶トリー作戦に参加しました。空き缶やペットボトルだけでなく大きなバケツやコーン、中には折れた標識を拾う場面もありました。

**美しい環境を守り育てるために各団体が協力
環境美化活動「丘のまちカントリー作戦」**



今年も美瑛中学校や美瑛高校の生徒たちも参加し美しいまちづくりに貢献。美瑛町観光協会が主催する環境美化活動「丘のまちカントリー作戦」が、5月17日に行われた。美瑛町日本で最も美しい村づくり活動の一環として毎年、続けられているボランティア清掃で、美瑛中学校や美瑛高校、町公衆衛生協会、町職員、老人クラブ連合会、建設業協会、商工会、美瑛ロータリークラブ、すずらん大学、デイセンターすずらんをはじめ、今年3月に包括連携協定を締結した日本生命保険相互会社旭川支社といった町外からの参加もあり、活動には30団体が協力。今年には256人の参加のもとに、パチワークの路や、パノラマロード、美瑛市街地などに分散し歩いて路肩などに落ち

ているゴミを回収した。当日は役場正面玄関前に集まった参加者を前に、町観光協会の西海正博会長が「多くの方々の参加に感謝したい。体調に気を付けて清掃活動を」とあいさつ。活動にも参加している北海道議会の今津寛史議員が祝辞を述べた。その後、参加者はスクールバスに分乗しそれぞれの担当区域に移動。4人ほどのグループになり、車の通行に注意しながら歩いて空き缶やタバコの吸い殻などのゴミを拾い集めた。「近年は落ちてくるゴミが少なくな





つている」このことで、「観光客が多く訪れている場所にコースを変更した方がよいのでは」といった意見も聞かれている。なお町役場交僚会では、国道237号沿いの花人公園駐車場前の植樹帯の美化清掃活動も実施。雑草を取り除く作業にあたった。